

これからの富士宮を創る広報誌

So good!

創宮

- 元ミス富士山 神戸麻衣さん
ふるさと・富士宮市を語る
- 全国から応援される富士宮市
～ふるさと納税を活かしたまちづくり～
- サンタモニカ市との交流
- 英国との交流

So good! vol.48



ごう ど ま い
元ミス富士山 神戸麻衣さん × 須藤秀忠 富士宮市長
ふるさと・富士宮市を語る

市長対談

元ミス富士山 ^{ごう ど ま い} 神戸麻衣さん × 須藤秀忠 富士宮市長

富士山が世界遺産に登録された平成25年にミス富士山になった神戸麻衣さん。現在までに司会、リポーター、モデルなど、幅広い分野で活躍しています。現在も地元・富士宮市を大切に思いながら活躍する神戸さんと市長が対談を行いました。

須藤秀忠市長（以下、「市長」）

神戸さん、お久しぶりです。今日はお忙しい中、ありがとうございます。神戸さんは富士山が世界遺産に登録された平成25年のミス富士山として、富士宮市のPRに大変なご協力をいただきました。早速ですが、ミス富士山に応募したきっかけは何だったのですか。

神戸麻衣さん（以下、「神戸さん」）

祖父から「ミス富士山コンテストに出場してみては」と話があり、一度は断ったのですが、「孫が活躍している姿を見たい」と言われ、家族の喜ぶ顔が見られるなら出場してみようかな、と思ったのがきっかけです。生まれ育った富士宮市のミス富士山になりたいという想いもあり、出場を決意しました。

市長

その後、ミス富士山としてさまざまな活動をしていただきました。印象に残っていることはありますか。

神戸さん

夫婦都市である近江八幡市での交流行事に参加し

たのが印象的でした。近江八幡市の学生交換事業に参加したこともあったので、とても感慨深かったです。

市長

近江八幡市とは歴代のミス富士山の協力をいただき、長い交流が続いています。実際にミス富士山として活動をされて、ご自身の中で変わったことなどはありましたか。

神戸さん

ミス富士山時代、富士宮市のPRに携われていることをとても嬉しく感じていました。行事の時には、市民の皆さんに温かく迎えていただく中で、富士宮



市にもっと貢献したいという気持ちが芽生えました。ミス富士山の活動を通して、社会貢献の大切さに気付きました。

市長

素晴らしいですね！ミス富士山コンテストは華があり、神戸さんをはじめ、出場者の皆さんから後光が射しているようでした。神戸さんは、現在は多方面で活躍されていますね。お仕事はいかがですか。

神戸さん

今はフリーアナウンサーとして活動していますが、仕事のご縁で、富士宮やきそば親善大使にも任命していただきました。最近は都内のイベントで富士宮やきそばを焼きました。もっと多くの人に富士宮やきそばや富士宮市を知ってほしいと思い、仕事をしています。

市長

神戸さんは、本当に富士宮市のことを愛しているのですね。市長として、とても嬉しく、そして頼もしく思います。

神戸さん

学生時代、市外に住んでいた時も休みの度に帰ったり、今でも静岡を往復しながら仕事をしていますので、このまちは本当に大好きです。富士山や富士宮焼きそば、人々の温かさなど、私が大好きな富士宮市の良い部分は、これからも変わらないでほしいですね。



市長

私も神戸さんと同じ気持ちです。私は、このまちを富士山の前にビルが乱立するようなまちにしたいありません。美しい富士山の風景、その前に広がる朝霧高原、富士山の恵みのきれいな水、先人が残してくれた文化などを未来に残していかななくてはなりません。このまちに来た人が、富士宮市の風景や文化を楽しめるまちにしたいと思っています。

神戸さん

インバウンドで多くの外国人の方が富士宮市を訪れてくれています。日本や富士宮の文化を尊重して、富士宮市を楽しんでほしいですね。私も語学留学で海外に行き、その国や土地の文化を尊重して、共存することがとても大切だと感じていました。

市長

そのとおりですね。神戸さんのPR力や富士宮市を想う気持ちは、とても頼りになります。これからのご活躍を、楽しみにしています。本日はありがとうございました。



▲ミス富士山時代の神戸さん

●神戸麻衣さん プロフィール

村山出身。富士根北小・中学校→富士宮西高等学校→常葉学園大学。第25代ミス富士山、2017ミスユニバースジャパン静岡代表。現在は都内を中心に、静岡でも司会・リポーター・モデルなど多方面で活躍中。

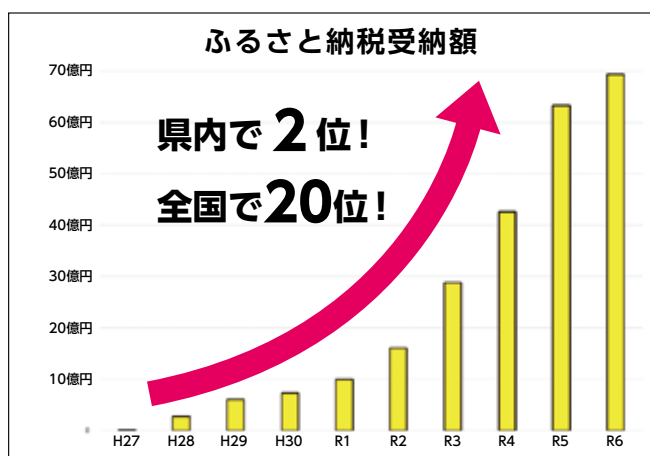
全国から応援される富士宮市

～ふるさと納税を活かしたまちづくり～

ふるさと納税が過去最高額を記録しました

令和6年度のふるさと納税受納額(ふるさと納税として富士宮市が寄附を受け取った金額)は69億3,803万4,700円で、過去最高額となりました。県内で2位、全国でも20位という素晴らしい結果です。

全国の皆さんから応援されるまちとして、富士宮市ではいただいた寄附金を大切に活用し、世界遺産・富士山の自然と恵みを大切に守り、安全・安心で活力のあるまちづくりをすすめています。



ふるさと納税とは

ふるさと納税は、生まれたまちや応援したいまちに寄附ができる制度です。

寄附をすると、住民税の減額などが受けられたり、地域の名産品などが返礼品として受け取れます。



富士宮市の魅力あふれるふるさと納税返礼品



▲富士宮やきそば



▲ニジマス



▲日本酒



▲清涼飲料水



▲ティッシュペーパー、トイレットペーパー



▲観光体験などの利用券

富士宮やきそばやニジマスなど、圧倒的な知名度を持つ特産品がふるさと納税の返礼品になっています。また、富士山の恵みである湧水を活かした日本酒や清涼飲料水、高品質なティッシュペーパーやトイレットペーパー、富士宮市の魅力あふれる返礼品が、全国各地からのふるさと納税を呼び込んでいます。

ふるさと納税を活用したまちづくり



▲「エキマエチャレンジハウス チリン」を開設しました。



▲外神東公園に、県内最大級の大きさの複合遊具を設置しました。



▲市の歴史や文化を後世に残すため、市史の編さんを行っています。



▲商店街のイベントを補助し、まちなかのにぎわいを創出しています。



▲「生んでよし 育ててよし」のまちを目指し、妊娠・出産をサポートします。

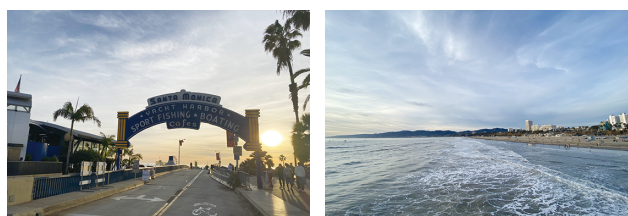


▲ふるさと納税を活用した事業には、地域おこし協力隊の方が制作したロゴを表示しています。

交流は海を越えて半世紀

半世紀にわたるサンタモニカ市との交流のあゆみ

昭和48(1973)年に市内で開催された国際親善パレードがきっかけで交流が始まったアメリカ・サンタモニカ市。昭和50(1975)年にサンタモニカ市の市制100周年の記念式典の席上で姉妹都市提携を締結後、今日までさまざまな交流が行われています。



▲サンタモニカ・ピア(写真左)とサンタモニカビーチ



▲姉妹都市提携に臨む植松義忠市長(写真右)



▲城山公園に「友好の像」を設置(その後、外神東公園に移設)



▲外神東公園に「リトル・ビッグ・ウェーブ」を設置



▲外神東公園にフジザクラとイロハモミジを植樹



▲40周年を記念し、レセプションを盛大に開催

～ 富士宮市と サンタモニカ市との交流～

姉妹都市提携50周年記念事業

姉妹都市提携を締結して50年の記念の年である令和7年は、さまざまな記念事業が行われました。



▲外神東公園に記念の屋外時計を設置



▲記念レセプションで染物を贈呈



▲記念レセプションで交流する両市の高校生



▲キッズゲルニカを市役所市民ホールに展示



▲サンタモニカ市で歓迎を受ける富士宮市訪問団



▲市長・議長が自ら富士宮市をPR



富士山がつなぐ絆



英国との交流



▲平成4年に富士宮口五合目に設置されたラザフォード・オールコック富士登山記念碑

万延元(1860)年、初代英国公使のラザフォード・オールコック卿が外国人として初めて富士山に登頂しました。この歴史的な出来事がきっかけで、平成4年の市制施行50周年の際、英国大使館関係者を富士山お山開きに初めて招待しました。以降、英国大使館関係者が毎年お山開きに参加しており、オールコック卿の富士登山のご縁から、富士宮市と英国の交流が続いています。

令和4年には、現駐日英国大使のジュリア・ロングボトム閣下がお山開きに参加し、市民の皆さんとともに富士山の開山を祝いました。



▲お山開きであいさつをするジュリア・ロングボトム駐日英国大使

英国大使のジュリア・ロングボトム閣下の富士登山

令和7年8月2日、ジュリア・ロングボトム駐日英国大使は初めて富士登山に挑戦しました。この登山の際、大使は富嶽天上茶を頂上の富士山本宮浅間大社奥宮に奉納し、日本一の高さで天上茶がじっくりと熟成されました。



▲大使に天上茶を手渡しする須藤市長



▲富士登山に挑戦する英国大使館関係者

英国大使館で富士宮市をPR

令和7年9月26日、ジュリア・ロングボトム駐日英国大使の招待を受け、英国大使館公邸で開催されたお茶会に、市関係者が出席しました。会場では、大使が奉納した富嶽天上茶がふるまわれ、参加者は豊かな香りと深い味わいのお茶を楽しみました。

また、富士宮産の日本酒の試飲も実施されるなど、富士宮市のPR活動が行われました。



▲大盛況となった日本酒の試飲コーナー



▲大使館で披露される富嶽天上茶